

学校教育目標

**考える子  
思いやる子  
けんきな子**



坂戸市立入西小学校

**につさいの宝**

令和4年4月8日発行 NO.1

児童数966名



< “ 継承と発展 “ — さらに「一步前進」 >



## 明るく元気に「令和4年度」がスタート

新型コロナウイルス感染症の終息への出口が見えない中であっても、春は誰のもとにもやってきました。校庭の満開の桜は、生命力溢れる若芽を各枝に繁らせ、可愛い新入生(155名)を、明るく迎え入れてくれました。巣立った181名の子供たち共々、さらなる成長とこれからの活躍を心から願ってやみません。

新年度を迎え、966名の子供たちの真っ直ぐな輝く瞳に出会った時、改めて「この子供たちとの出会いを必ずや大切にすると肝に銘じ心新たにしたところです。人はまさに縁で繋がっています。その縁を通じた多くの出会いの中で、その後の生涯を左右したり、人間形成に影響を及ぼしたりするほどの出会いをすることがあります。それ故に「縁」を大切に、よい出会いを願うわけです。

「一期一会」の言葉のように、出会い、関わる子供たちの思いに、精一杯心を込めて応えていきたいと考えています。申し遅れましたが、この度着任した新校長、大川泰弘 でございます。

今も昔も、これからも「子供は未来を生きる」ものです。子供たちに「未来をたくましく生き抜く力」を培っていくことは、私たち大人に課せられた大きな責務です。今年度も、保護者・地域の皆様と、さらに強く繋がり合い、全教職員が心一つにして、学校教育目標「考える子 思いやる子 けんきな子」の達成のため、粘り強く粘り強く、全力で教育活動を展開してまいります。これまでと変わらぬ、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 新6年生、期待のデビュー。「学校の顔」には、努力してなる！

新年度の準備のために、新6年生による「準備登校」が6日にありました。小学校では、6年生は「学校の顔」と言われます。しかし、単に6年生になったから「学校の顔」になるわけではありません。これまでのたくさんの貴重な経験や体験を積み上げて、自分のものにしていくからこそ、本物の「学校の顔」になれるのです。だから本物の「学校の顔」には、たくさんの「一生懸命」や「努力」、「優しさ」や「親切」な気持ちが詰まっています。

6日、新6年生は、一生懸命働いてくれました。机やイスをはあはあと息を弾ませながら他の教室に運んでいた子、床やロッカーを黙々と隅々まで丁寧に雑巾がけしていた子、「何かお手伝いすることができますか」と進んで仕事を探していた子などなど。どの子も額に汗し、顔を真っ赤にして、一心に仕事をしていました。そう言えばこの光景。丁度一年前に、いやそれ以前にもあった光景なのでしょう。「学校の顔」となる、これからの一年。さらに逞しさを増した6年生のこれからの活躍に、今からワクワクしています。下級生たちの手本となって、本校がさらにより学校となるよう、先輩たちから受けたバトンを、後輩たちに、その手本としての「姿」をもって確実に引き継いでいくのです。保護者、地域の皆様。児童、教職員共々、令和4年度もどうぞよろしくお願いいたします。

**【入西小の心：一座建立 和気愉色】**